

## 日本温泉科学会第 60 回大会

## 公開講演 1

観光のキーワードは健康, 環境, 文化  
—温泉王国鹿児島は何をなすべきか—

(株)グローバルユースビューロー

古木圭介

The Keywords of Tourism are Health, Environment  
and Culture  
—What is Our Promotion as the Kingdom of the Hot Spring—

Keisuke KOGI

Tour Coordinator and Consultant

日本は戦後, 経済高度成長を続け世界のトップクラスの経済大国にまで発展しました。しかし, その陰には多くの問題を残すことにもなりました。

日本の経済を支えてきた自動車産業や電器産業などは世界的に問題のある地球温暖化を招く大きな要因になってきました。大きな戦争も久しくない中で今からの経済発展は「環境」に配慮したものでなければ平和であるだけではもう許されないのが現状でしょう。そこで新たな産業として国内はもちろんのこと世界で注目されているものが観光産業です。日本は「観光」についてはまだまだ発展途上国といえます。世界で一番の観光大国はフランスです。最近ではスペインもその分野で大きな発展を遂げています。日本も海外からの交流人口を増進させるため必死です。

鹿児島においても国内観光客の限界を海外からの新たな訪日観光客に注目してそのためのプロモーションを続けています。

しかし, 従来の物見遊山的な観光地めぐりは日本人の観光客にも飽きられています。しかし, 屋久島に象徴される「自然環境」を求めて訪れる自然愛好者は後をたちません。また, 文化を観光の資源にしている国は枚挙のいとまありませんが, ヨーロッパは文化遺産や文化イベントで毎年多くの観光客を招き入れています。その象徴的存在が「ザルツブルグ音楽祭」です。90年あまりの歴史を誇るこの音楽祭はリピーターで溢れ, その経済効果は驚くべき数字です。

28年目を迎えた霧島国際音楽祭も次第に海外からの参加者が増えています。もっと注目すべきは先進国の共通の課題である「健康」でしょう。ドイツ, オーストリアは温泉を資源に健康リゾートを成功させていますし, 南フランスは海洋深層水を活用したタラソセラピーで世界中の健康から注目を集めています。鹿児島には他の国にない健康資源が眠っているのに何故発展途上なのでしょう。逆に言うところこれほど可能性のある地域はないのではないかと思います。それは関係者が何が不足しているかに気づいたときに大きく変わっていくだろうと思います。